



2024年4月15日

株式会社あいちフィナンシャルグループ

お取引先企業へのアンケート調査の結果について

株式会社あいちフィナンシャルグループ（代表取締役社長 伊藤 行記）の子会社である愛知銀行と中京銀行は、お取引先企業における景況感ならびに社会・経営課題への対応についてアンケート調査を行いましたので、その結果をお知らせいたします。

お取引先企業が感じている景況感や社会・経営課題への取組状況を把握することで、提供する金融サービスの充実につなげ、地域経済の発展に貢献してまいります。

記

【実施要項】

総数	：調査対象企業総数11,750社、うち有効回答数3,664社
調査対象	：愛知銀行および中京銀行と一定額以上の融資取引のある法人
調査方法	：オンラインアンケートによる無記名回答
調査時期	：2023年12月6日～2024年1月12日

【調査結果（要旨）】

- ・向こう1年の業況見通しについて、最も多い回答は「横這い」の46%でした。次いで「改善」が36%、「悪化」は8%でした。業種別では「改善」と回答した割合が最も高い業種は飲食業の64%、次いで情報通信業の42%、小売業42%でした。
- ・今後の資金繰りの見通しについて、「不安はない（資金調達済み）」「不安はない（自己資金で対応する）」と回答した企業は65%となり、東海3県における地域ごとの差はありませんでした。
- ・カーボンニュートラルに向けた取り組み状況について、「既に取り組みしている」と回答した企業は27%でした。地域別では「既に取り組みしている」と回答した割合は「三河」が最も高く34%でした。

※詳細は添付資料をご覧ください。

以上